

木曜講座

The Thursday course 2020

木曜講座
とは

西宮東高等学校が併設しているホール、「西宮東高校ホール(なるお文化ホール)」で行っております市民講座で、無料でどなたでも受講できます。また事前の登録や申し込みも必要ありません。
どうか32年目の本年度も、木曜講座をよろしくお祈りします。

第1回 10月15日(木)

『新型コロナウイルス感染症から何を学ぶか
— その影響と課題 —』



新型コロナが収束しても忘れてはいけないことを学びます。

第2回 11月5日(木)

『勇猛かつ繊細 — 生誕100年を迎えた
映画俳優・三船敏郎の魅力を探る』



「世界のミフネ」を学問します。

第3回 11月12日(木)

『チェロを知る・聴く・楽しむ』



様々なチェロの名曲を楽しいお話を変えてお届けします。

第4回 11月19日(木)

『共倒れする日韓』



NHKハングル講座でもお馴染みの先生が日韓のこれからについて語ります。

第5回 11月26日(木)

『西宮東高校卒業生が語る
— 働くママが作家になるまで!』



仕事・子育てから夢の実現に向けたお話です。

第6回 12月3日(木)

『暮らしの中の看護 ~ ナイチンゲール
生誕200年に心を寄せて~』



「白衣の天使」の知られざる実像に迫ります。

第7回 1月21日(木)

『渋沢栄一 — 大激動期における
経済指導者の役割 —』



新一万円札の顔にして今年の大河のモデルを深く学びませんか。

第8回 1月28日(木)

『世界遺産と百舌鳥・古市古墳群』



「仁徳天皇陵古墳」を初めとする古墳群の魅力と価値をたっぷりとお聞かせします。

第9回 2月25日(木)

『日本人初のオリンピック選手 金栗四三』



「史上最も遅い陸上記録」誕生秘話などエピソード満載です。

第10回 3月4日(木)

『社会で役立つ! 短歌の活用法
~ 短歌作りの実践&レクチャー~』



関西の若手歌人の旗手が再登壇します!

※新型コロナウイルスの影響により、延期もしくは中止とする場合がございます。お出かけの前には西宮東高校ホームページか、裏面の問い合わせ先までご連絡下さい。

詳しくは裏面へ!

2020 木曜講座 講師の先生方紹介と講座の概要

■第1回／10月15日(休)

「新型コロナウイルス感染症から何を学ぶか ― その影響と課題 ―」
明和病院副院長・内科主任部長・感染対策室室長

岸 清彦 (きし きよひこ) 先生

▶ 医学博士・日本内科学会 指導医・総合内科専門医・認定内科医・日本感染症学会認定ID。モットーは「わかりやすい説明と笑顔になっていただくこと」。新型コロナウイルス流行時には明和病院 感染対策室室長として感染防止に努めた。

「万病の元」と言われる風邪の主な原因であるウィルスは、古くから環境に適応するために変化し続け、SARSやMERSといった新型ウィルスも生まれました。しかしそれらを経験した我々が新型コロナに即座に適切に対応できなかったのは、今後の大きな課題です。この課題を乗り越え我々も変化しましょう。

■第2回／11月5日(休)

「勇猛かつ繊細

― 生誕100年を迎えた映画俳優・三船敏郎の魅力を探る」

神戸大学准教授 板倉 史明 (いたくら ふみあき) 先生

▶ 神戸大学大学院国際文化学研究所准教授。専門は日本映画史。これまで美空ひばりのスターイメージや、京マチ子の演技について論じたことがある。主著として、アメリカに渡った日系移民と日本映画の関係を論じた『映画と移民』(2016)がある。

「今年で生誕100年を迎える三船敏郎(1920年―1997年)は、黒澤明監督の『羅生門』や『七人の侍』をはじめ、多くの作品で勇猛さと繊細さをあわせもつ役柄を演じ、世界の観客を魅了しました。本講義では、映画の歴史における三船敏郎の役割を位置づけるとともに、三船の演技の魅力と独自性を、映画学の視点から具体的に解説してゆきます。」

■第3回／11月12日(休)

「チェロを知る・聴く・楽しむ」

相愛大学名誉教授 斎藤 建寛 (さいとう たつお) 先生

▶ 13才でチェロを始め、15才にして単身上京。桐朋学園高校を経て同大学音楽学部で学び、後にジュネーブ音楽院に留学。その間愛すべき4人の恩師に師事。1988年咲くやこの花賞受賞。現在は相愛大学で教鞭をとる傍ら、演奏活動を展開している。

「チェロはヴァイオリンの仲間の弦楽器で、およそ500年前にヨーロッパに生まれました。ヴァイオリンの華やかな魅力に対して、チェロには人の声のように語りかけてくれる優しさと落ち着きがあります。そんなチェロはクラシックを始めとするあらゆるジャンルの音楽を違和感なく奏でます。今回はチェロにまつわる楽しいお話をまじえての演奏をお楽しみ下さい。」

■第4回／11月19日(休)

「共倒れする日韓」

京都大学教授 小倉 紀蔵 (おくら きさづ) 先生

▶ 若い頃の8年間の韓国生活を経て、その後、日本の大学で韓国思想や東アジア思想を教えている。「日韓友情年2005」「日韓交流おまつり」「日韓文化交流会議」の委員もつとめた。著書に『韓国は一個の哲学である』(講談社、1998)など。

「日本は韓国を毛嫌いしている場合ではないし、韓国も反日で鬱憤を晴らしている場合ではありません。格差、少子高齢化、教育問題、感染症対策など、さまざまな困難を共通に持ち、また対策に成功していないのが日本と韓国です。このまま日韓が沈んでしまわないために、どうすればよいか。考えたいと思います。」

■第5回／11月26日(休)

「西宮東高校卒業生が語る ― 働くママが作家になるまで!」

作家 佐藤 いつ子 (さとう いつこ) 先生

▶ 1967年大阪府生まれ。青山学院大学文学部フランス文学科卒業。2015年『駅伝ランナー』全3巻(角川文庫)で作家デビュー、この作品と『キャプテンマークと銭湯と』(KADOKAWA)の両作とも神奈川県優良図書に選定される。横浜市在住。

「17年間、営業として働いたIT関連メーカーを辞めるとき、同じワーキングマザーの同僚に理由を聞かれました。「娘の小1の壁と、作家になりたいんで」と答えたところ、「自費出版とかあるしね〜」と、はなから「無謀な夢」扱い。でも、夢は叶いました!! どうやって作家になったか、そして、その後をお話します。」

■第6回／12月3日(休)

「暮らしの中の看護 ～ ナイチンゲール生誕200年に心を寄せて～」

神戸常盤大学 准教授 魚崎 須美 (うおざき すみ) 先生

▶ 甲南女子大学大学院看護学研究科修士(看護学)修了。兵庫県保健師として32年間勤務する中で県立看護学校での保健師教育、介護福祉士教育などを経て大学教育へ。現在は、神戸常盤大学に勤務しながら徳島文理大学大学院博士課程に在籍し、ナイチンゲール看護をテーマとした研究を続けている。

「今年度はフロレンス・ナイチンゲール(1820-1910) 生誕200年にあたり、WHOが「看護師と助産師の年」と宣言しました。ナイチンゲールは「白衣の天使」としてよく知られていますが、実は、彼女が残した功績はそれだけではありません。一般にはあまり知られていないナイチンゲールの実像とともに、いのちと健康を守る「暮らしの中の看護」についてお伝えします。」

■第7回／1月21日(休)

「渋沢栄一 ― 大激動期における経済指導者の役割―」

大阪大学名誉教授、大阪企業家ミュージアム館長

宮本 又郎 (みやもと またお) 先生

▶ 神戸大学大学院経済学研究科博士課程退学、経済学博士。専門は日本経済史・経営史。主著『近世日本の市場経済』(有斐閣)『企業家たちの挑戦』(中公文庫)『渋沢栄一』(PHP研究所)など。第31回日経経済図書文化賞受賞。

「近代日本の経済発展に大きく貢献した渋沢栄一。生涯におよそ500もの企業の育成に関わり、「日本資本主義の父」と評されています。渋沢の生き方・企業家精神や生涯を貫いた経営哲学をお話し、彼の現代社会へのメッセージをくみ取りたいと思います。」

■第8回／1月28日(休)

「世界遺産と百舌鳥・古市古墳群」

大阪府教育庁文化財保護課 飯塚 信幸 (いづか のぶゆき) 先生

▶ 1994年生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了(考古学専攻)。大学1年生の時に参加した発掘調査に魅了され、考古学の道に進む。現在は公務の傍ら、古墳時代の調理道具について研究している。趣味は旅行・野球観戦など。

「世界遺産という制度はどのように始まり、その登録基準は何か、という仕組み自体についての概説、および百舌鳥・古市古墳群がどういう特徴を持っている、なぜこの度世界遺産に登録されたのかということについて解説します。」

■第9回／2月25日(休)

「日本人初のオリンピック選手 金栗四三」

西宮東高校 霜澤 喜代子 (しもざわ きよこ) 先生

▶ 京都女子大学文学部東洋史学科(日本史専攻)卒業。本校には平成14年から勤務(地歴公民科)。19年前から地域の公民館などで、大河ドラマをテーマにした歴史講座を担当。

「一昨年の大河ドラマ『いだてん』でも描かれた日本人初のオリンピック選手・マラソンの金栗四三。「駅伝」競技の創始者としても知られています。先駆者であるが故にさまざまな困難と失敗に見舞われながらもそれを乗り越え、生涯走り続けた秘密とは?「マラソンの父」の魅力的な素顔をご紹介します。」

■第10回／3月4日(休)

「社会で役立つ!短歌の活用法 ～ 短歌作りの実践&レクチャー～」

歌人 高田 ほのか (たかだ ほのか) 先生

▶ 関西学院大学文学部卒。未来短歌会所属。テレビ大阪放送審議会委員。『ライナスの毛布』(書肆侃侃房)上梓。『100首の短歌で発見!天神橋筋の店ええとこここやで』が文化庁の協力名義を受ける。3校の短歌教室講師。

「短歌は、五・七・五・七・七の三十一音という短い言葉の中に、自分の想いをぎゅっと込めることができます。日本の伝統文学を新しい形で発信し、企業やまちの魅力を伝える社会的なPRに活用できることを知ってもらいたい。令和を生きるあなたの心を元気にするツールとして短歌を気軽に使っていただくきっかけになればと考えています。」

木曜講座のご案内

■会場：西宮東高校ホール (なるお文化ホール)

■開場：13時30分 ■開演：14時 ■終演：16時

■入場料：無料

■参加資格：どなたでも歓迎 (当日受付)

■問い合わせ先：西宮東高校 TEL (0798) 47-6013
ホール TEL (0798) 47-7977

↑兵庫県下に暴風警報が発令中で開演1時間前までに解除されない場合、休講になることがあります。ご照会ください。

西宮東高校

検索

